

科目名	デザイン研究 3								年度	2025
英語科目名	Design study 3								学期	2
学科・学年	デザイン科 インテリアデザイン専攻 2年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義	
担当教員	小川 知子			教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築士	
【科目の目的】										
建築・インテリア図面のかきかたを知り、自分のデザインを図面に表現するために必要な、基本的な図面表現のしかたを学ぶ。										
【科目の概要】										
概要 1：製図道具の使い方、図面記号、線の種類、作図のルール、図面の種類の理解 概要 2：線種の使い分け、建具記号、家具図の描き方 概要 3：木造、鉄筋コンクリート造の平面図、展開図、断面図、立面図の図面表現 概要 4：実際に存在している空間の図面の書き起こし										
【到達目標】										
到達目標 A： 図面記号や線の書き分けができる 到達目標 B： 空間を理解し、断面線や見えがかり線を区別して表現できる 到達目標 C： 実際の空間を計測し、平面図や展開図に起こすことができる 到達目標 D： 構造や建具、家具を適正な線種、寸法で図面に表現できる 到達目標 E： 三面図を理解し、家具図に表現することができる										
【授業の注意点】										
製図道具は大切に扱い、必ず持参すること。授業開始時に説明を行うので遅刻しないこと。課題の提出期限を必ず守ること。 全ての課題の提出を持って合格とする。また、授業時数の3/4以上の出席がないものは合格することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル 5			レベル 3				レベル 1		
	優れている			ふつう				要努力		
到達目標 A	図面記号や線種を理解ししっかりかき分けすることができる			図面記号や線種をおおよそ理解し、しっかりかき分けすることができる				図面記号や線種を理解できておらず、書き分けができない		
到達目標 B	空間を理解し、線種を区別して表現することができる			空間を概ね理解し、線種をおおよそ区別して表現することができる				空間を理解できておらず、線種を区別して表現することができない		
到達目標 C	空間を実測し、それを平面図や展開図に正確に表現することができる			空間を実測し、それを平面図や展開図に概ね正確に表現することができる				空間を実測し、それを平面図や展開図に表現することができない		
到達目標 D	構造や建具、家具を適正な線種や寸法で正確に図面に表現することができる			構造や建具、家具を線種や寸法を概ね正しく図面に表現することができる				構造や建具、家具を正しく図面に表現することができない		
到達目標 E	家具を三面図に、正確に表現することができる。			家具を三面図に、概ね正確に表現することができる				家具の三面図を理解できておらず、表現することができない		

【教科書】 「やさしく学ぶインテリア製図」									
【参考資料】 プリント配布あり									
【成績の評価方法・評価基準】 課題成果物 60% 習熟度 30% 平常点 10%									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									
科目名		デザイン研究 3					年度	2025	
英語表記		Design study 3					学期	2	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル		評価方法	自己評価	
1	線の練習	道具の扱いに慣れる		ガイダンス	授業の目的、すすめかた		2		
				道具の名称と扱い	製図道具の名称と使い方を理解する				
				線のひきかた	線のひきかた、太線、中線、細線の役割の理解				
2	線の練習	各種の線種のかきわけ		線のひきかた	各種の線を縦横の差がなくひけるようになる		2		
				三角スケール	三角スケールを使いこなせる				
3	図面記号と建具記号	各種記号を理解する		建具記号	開閉記号を理解し、かけるようになる		2		
				図面記号	数字や文字、図面記号の約束を理解し、書ける				
4	家具図	三面図の理解		三面図	三面図の描き方を理解し、作図できる		2		
				家具の断面	家具の構成を理解し、断面をかける				
5	RC造マンションの作図	平面図		平面図の概念	平面図の基本的な考え方を理解する		2		
				構造、建具をかく	基準線、下書き線、太線、中線の書き分けができる				
				家具、造作をいれる	高さの違いによる表現違いを学ぶ				
6	RC造マンションの作図	平面図・展開図		文字、寸法の記入	文字、寸法、縮尺、方位等を正しく記入できる		2		
				展開図の概念	展開図の基本的な考え方を理解する				
				床・壁・天井	構造体、建具を正しく図面に入れられる				
7	RC造マンションの作図	展開図		家具、造作を入れる	断面線、中線を区別して書き分けられる		2		
				文字、寸法の記入	文字、寸法を正しく記入できる				
8	空間の実測と作図	平面図		実測メモの図面化	図面をつくるために必要な実測箇所を把握できる		2		
				平面図をかく	見本の図面がなくてもメモを基に平面図がかかる				
9	空間の実測と作図	平面図		平面図をかく	実測してきたメモをもとに図面化できる		2		
				数字や文字の記入	他者が理解しやすい図面をかくことができる				
				展開図をかく	実測メモをもとに、展開図をかくことができる				

10	空間の表測と作図	展開図		数字や文字の記入	他者が理解するのに必要な情報を入れることができる	2
11	木造住宅の図面	1 階平面図		木造軸組の構造をかく	柱、間柱、壁を平面図にかくことができる	2
				建具記号の記入	建具記号を記入することができる	
12	木造住宅の図面	1 階平面図		家具や造作、階段	線種を使いわけながら、わかりやすくかける	2
				文字、数字の記入	他者が理解しやすい情報をいれることができる	
13	木造住宅の図面	断面図		構造の記入	平面図や矩計図や詳細図を基に断面図がかかる	2
				建具の記入	断面線と中線のかきわけができる	
14	木造住宅の図面	断面図		家具、造作の記入	断面線と中線の書き分けができる	2
				文字、寸法の記入	わかりやすく必要な情報をいれることができる	
15	木造住宅の図面	立面図		立面図をかく	見本をもとに立面図をかくことができる	2
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						